

NEWS RELEASE

令和3年6月22日
独立行政法人日本スポーツ振興センター
広報室

日本スポーツ振興センター 有望アスリート海外強化支援事業

有望アスリート研修会「有望ラボ2020」開催報告

日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL）が設置するハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）では、2024年オリンピック・パラリンピック夏季競技大会及び2026年オリンピック・パラリンピック冬季競技大会において金メダル獲得が期待される選手をターゲットアスリートとして選定し、海外において集中的・計画的に行われる強化活動を支援する『有望アスリート海外強化支援事業』を実施しています。

この度、ターゲットアスリートに対してHPSCからの情報提供や、ターゲットアスリート同士の交流を目的とした研修会「有望ラボ2020」を2021年2月～3月の期間、開催しましたのでお知らせします。

これまで、有望ラボは集合型研修として実施してきましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症への対策と新しい生活様式を踏まえ、ターゲットアスリートへの新たな研修機会として、映像教材を用いたプログラムにより実施しました。映像教材のテーマは「ストレスマネジメント」とし、HPSCの国立スポーツ科学センター（JISS: Japan Institute of Sports Sciences）心理グループ監修のもと、2本の映像教材を制作し、今年2月、全ターゲットアスリートへ配信しました。映像教材を視聴後、全ターゲットアスリートからプログラムへのフィードバックの映像を集約したものをその後3月に再配信することで、新たな交流の機会を創出しました。

以下ウェブサイト映像教材「ストレスマネジメント」の紹介動画のほか、「普段どのような時にストレスを感じているのか」、「どのようにストレスと付き合っているのか」について、サニブラウン アブデルハキーム選手、平野美宇選手よりいただいたコメントを掲載しましたので、是非ご覧ください。

■ウェブサイト

<https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/business/ourwork/tabid/1757/Default.aspx>

■参加アスリート

アスリート	競技団体
サニブラウン アブデルハキーム	公益財団法人日本陸上競技連盟
綿貫 陽介（※） / 佐藤 久真莉	公益財団法人日本テニス協会
張本 智和 / 平野 美宇 / 伊藤 美誠 / 早田 ひな	公益財団法人日本卓球協会
阿部 一二三 / 芳田 司	公益財団法人全日本柔道連盟
三木 つばき / 川上 蒼斗	公益財団法人全日本スキー連盟

※綿貫選手は、2021年3月まで本事業ターゲットアスリートとして活動

■「有望アスリート海外強化支援」事業とは

- パリ 2024 オリンピック・パラリンピック夏季競技大会及びミラノ 2026 オリンピック・パラリンピック冬季競技大会において金メダル獲得が期待される競技者をターゲットアスリートとして、集中的・計画的な海外における強化活動を行うものです。
- ターゲットアスリートとそのターゲットアスリートを核として組織化したコーチ、トレーナー、サポートスタッフ等を同時に派遣することにより、一貫指導が行えるとともに、世界最高水準の指導法に触れることで強化スタッフの指導力等の向上も目指します。
- 日本では受けられない専門家からの指導を受ける、日本にはいないトレーニングパートナーとトレーニングを行う、日本では揃えることのできない環境(施設)を活用するといった目的の活動を実施します。
- 本事業実施に当たっては、活動の基となる「ターゲットアスリート海外強化プラン」を作成しています。このプランは、パリ 2024 オリンピック・パラリンピック夏季競技大会及びミラノ 2026 オリンピック・パラリンピック冬季競技大会での金メダル獲得を目指すための中長期的な計画です。
- ターゲットアスリートの選定に際しては、公正・公平を保つため外部有識者を交えた選定会議での審査、評価に基づき行っています。

< 本事業における活動内容 >

コンセプト

将来有望な選手を世界最高レベルの海外強化環境へ派遣し、
2024パリ大会、2026ミラノ大会で金メダル獲得を目指す

